

都城市の自治会加入促進活動について

加入率低下の要因分析その②

加入促進の為の具体的な対策をまとめる前に更なる要因分析を行ったが、その結果を今後の対策を検討する上での一助となることを期待する

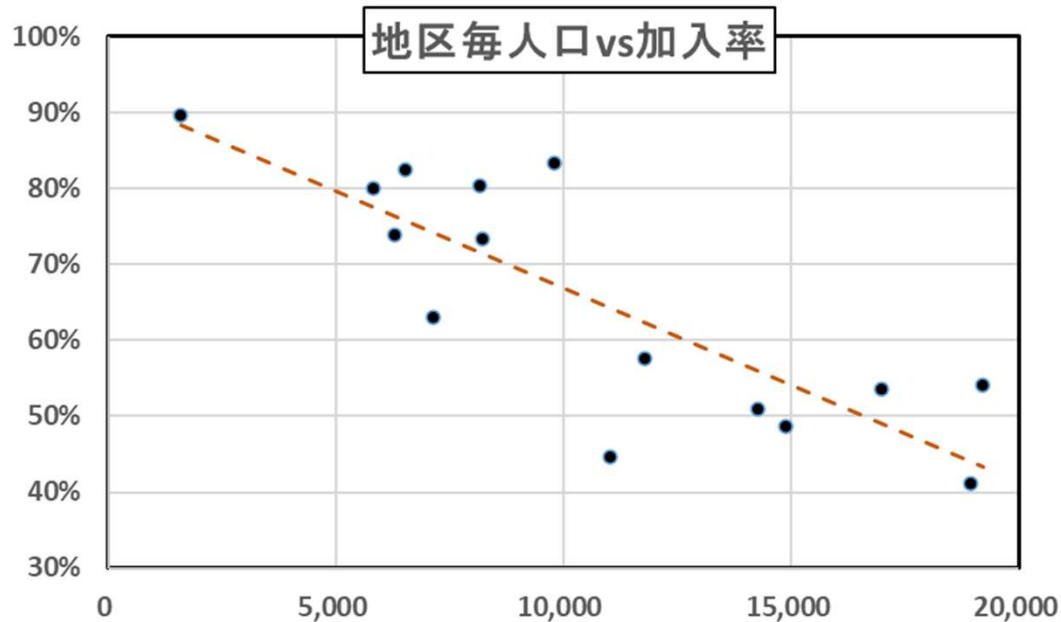
◆加入率低下に対する地区毎・加入者層(性別・年齢層別)に対して相関性を調べた

①令和2年度(10月1日現在)の国勢調査による各地区毎のデータを基に最も近い令和3年度の各地区の加入率との相関性を調査する為、散布図を作成した

②作成した相関グラフを基に考察を行った

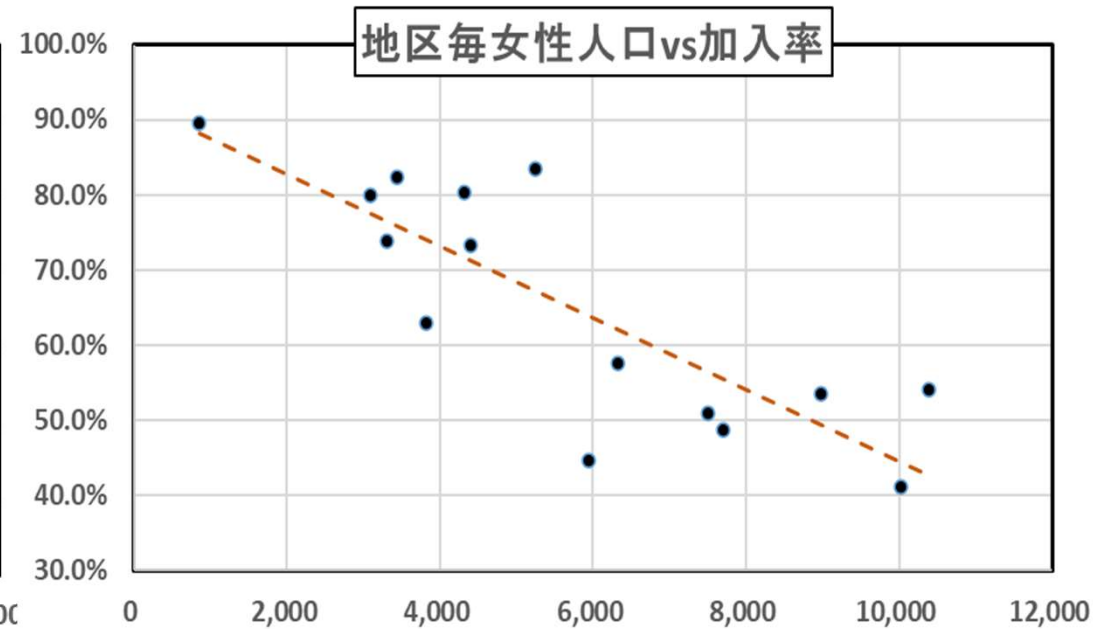
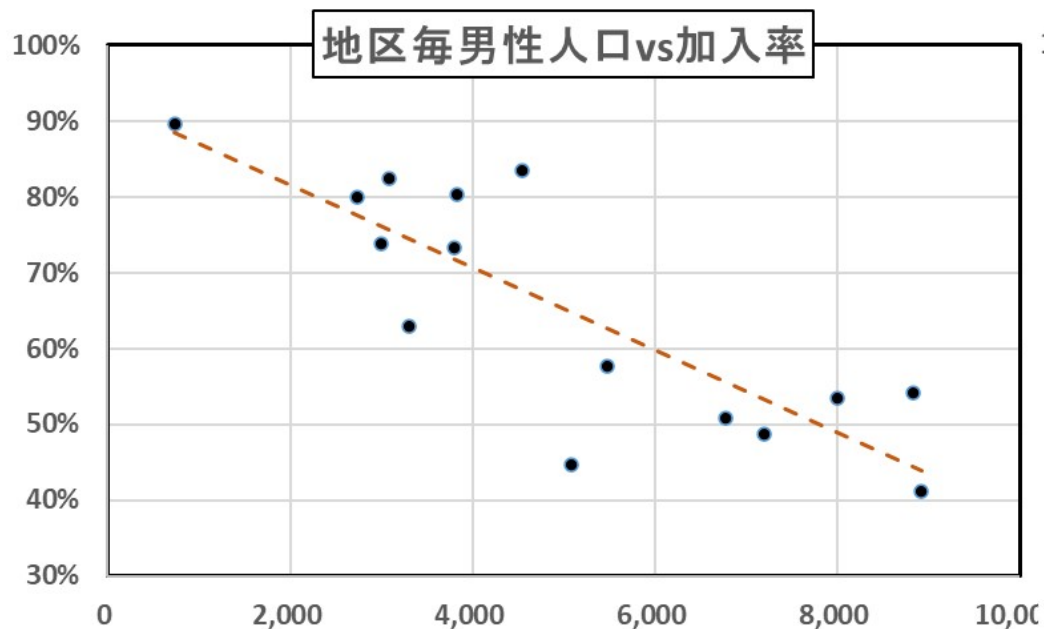
資料作成日： 令和 7年 6月 16日
作成： 植村

地区毎の総人口 / 男性人口 / 女性人口と加入率との相関性について

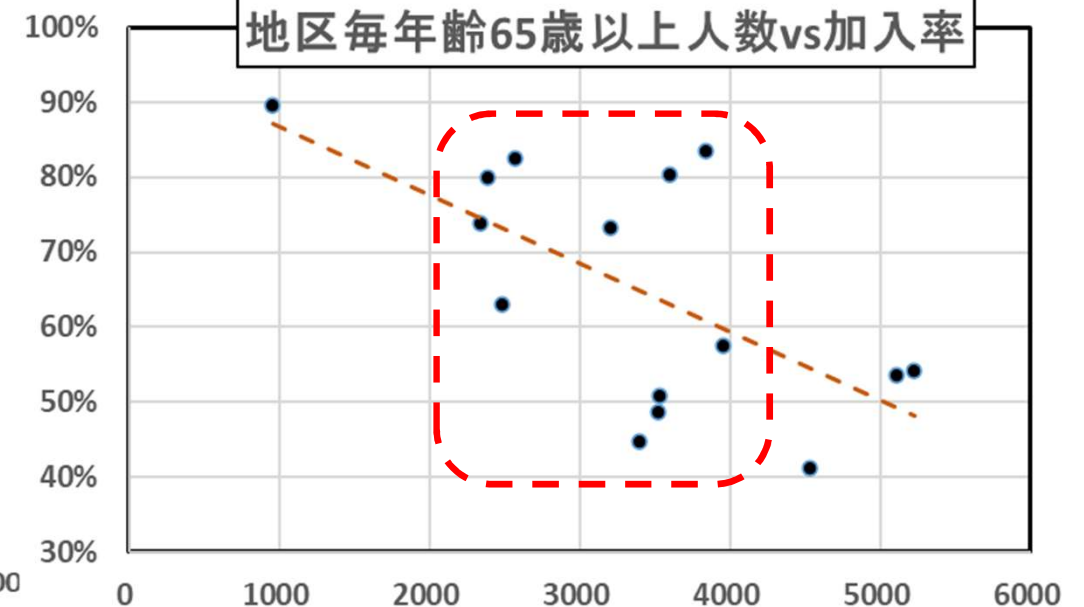
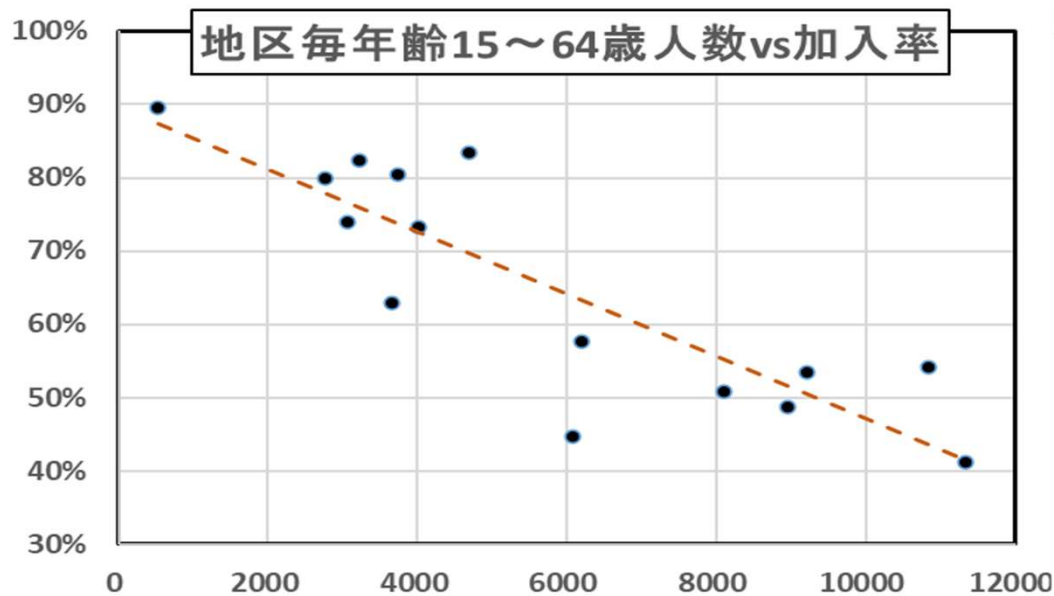
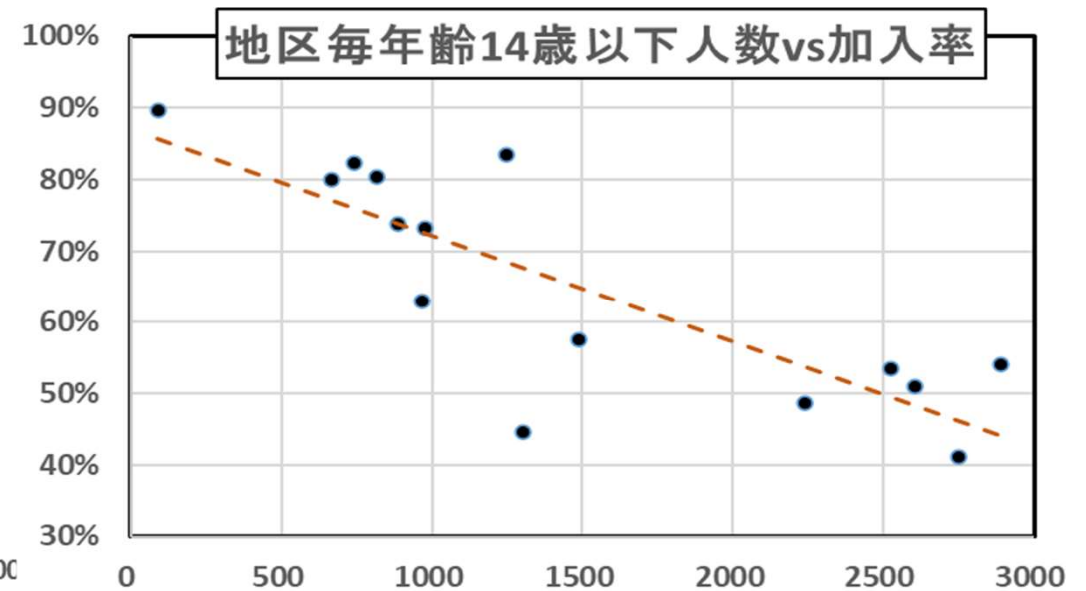
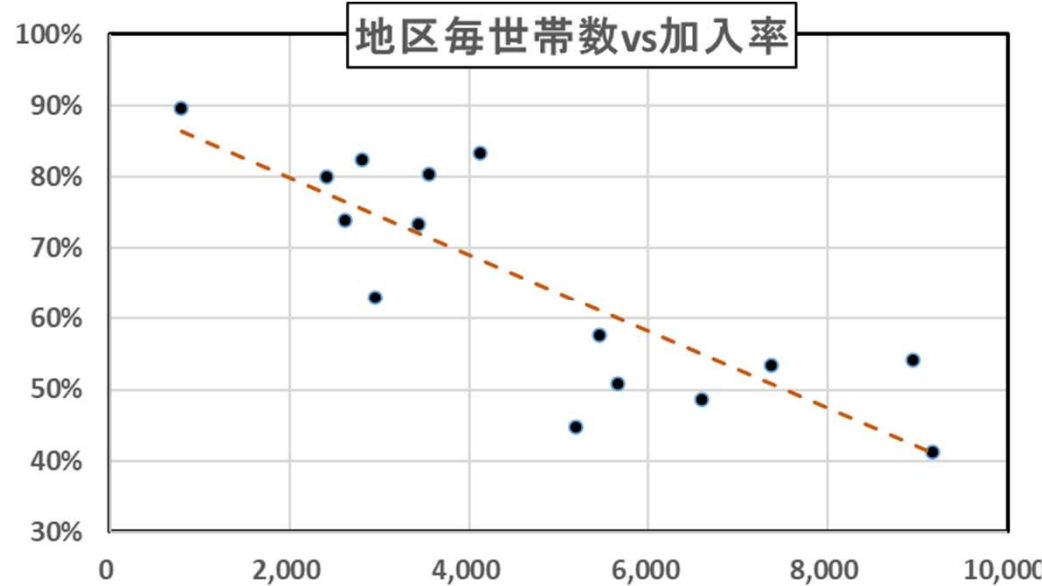


各地区の総人口、男性人口、女性人口
ともに加入率とは若干弱い相関性がある
ものの、それぞれほぼ同様の傾向にある

人口が多い方が加入率が低い傾向にある
⇒自治会のグループが大きいほど
情報の伝達や共有性が困難になって
いて結束力が弱くなっていないか？

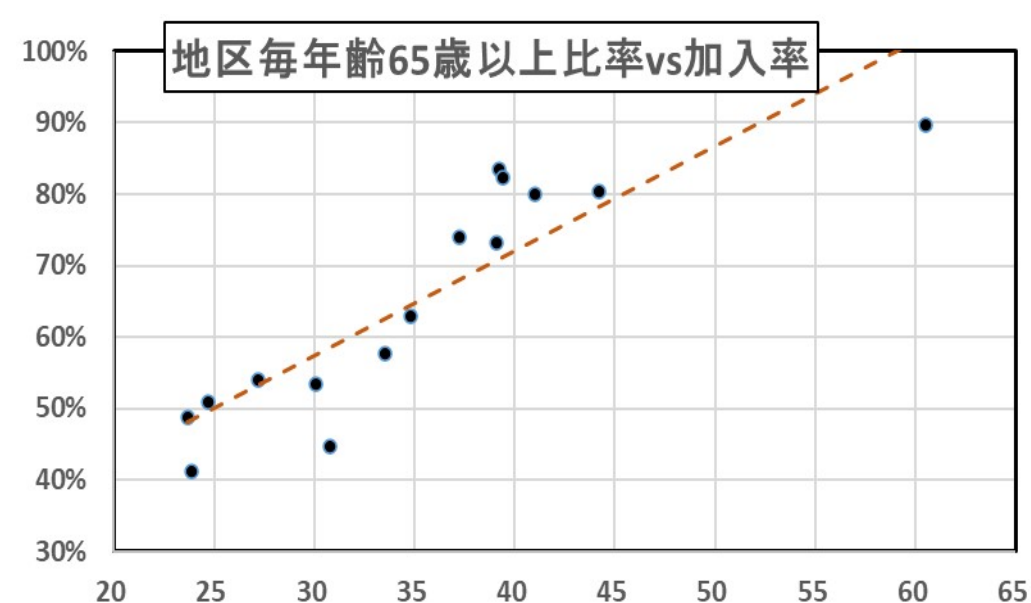
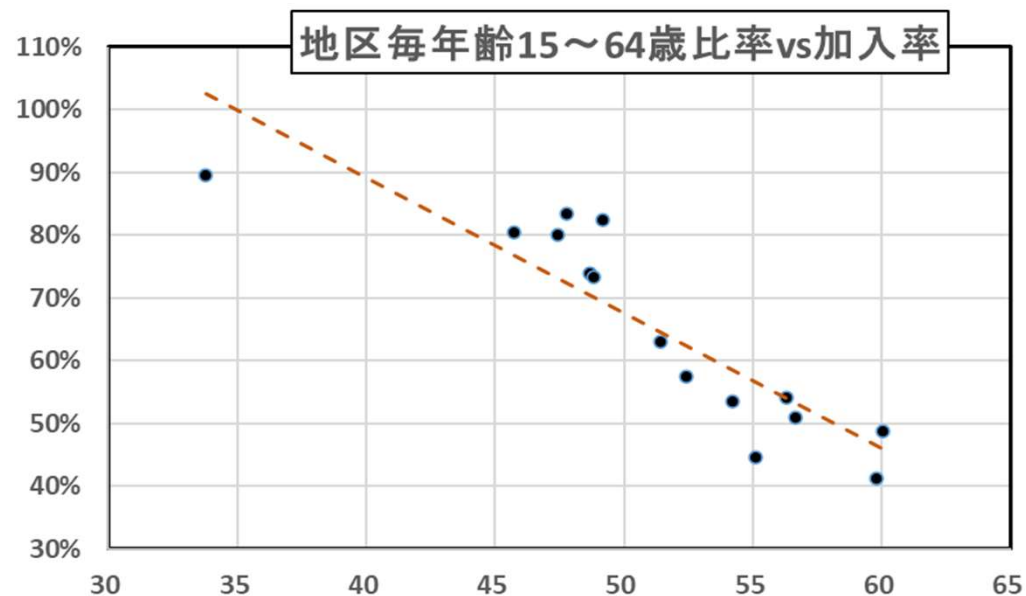
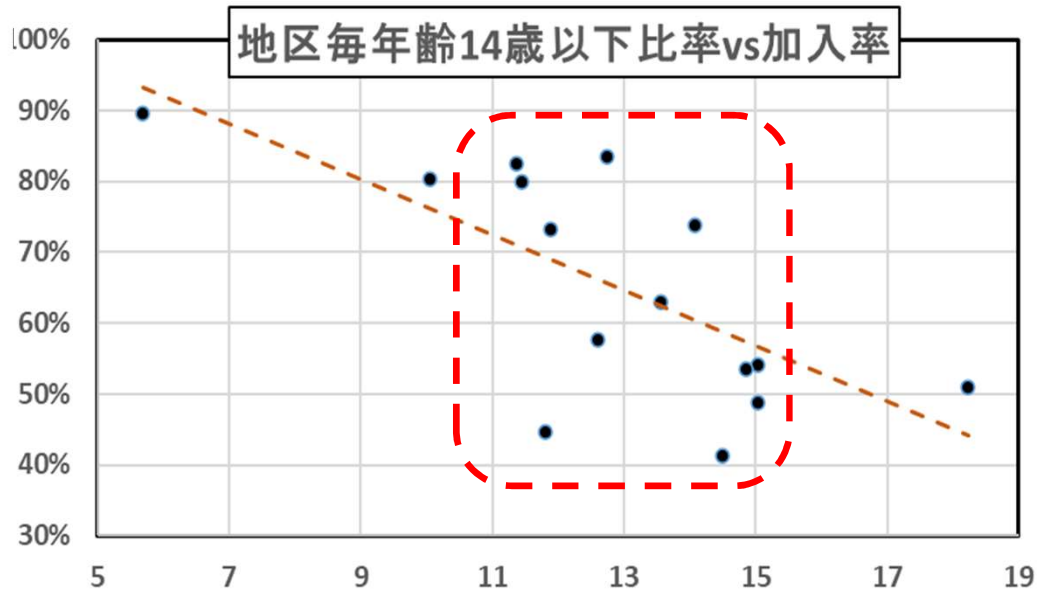
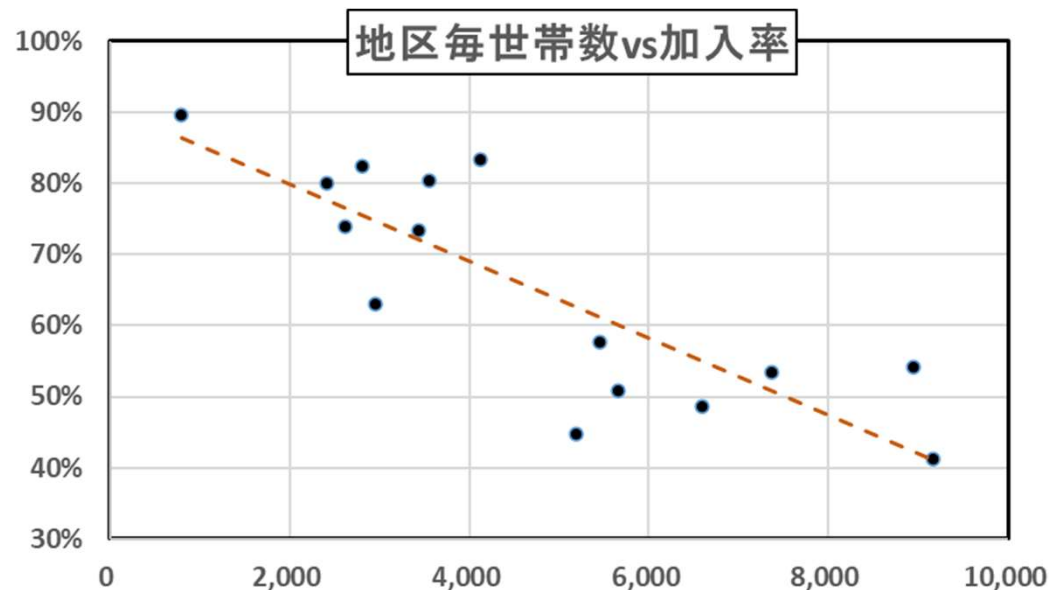


地区毎の加入者年齢層別人口と加入率との相関性



各年齢層の人口と加入率の関係では、64歳以下の層別に対しそれなりに相関性が有るが
65歳以上の層では殆ど相関性が無く、高齢者実数と加入率とは無関係と云える

地区毎の加入者年齢層別構成比率と加入率との相関性



各年齢層の構成比率と加入率の関係では、65歳以上の層においても相関性が有るが、相関の傾向は右上がりである。(15～64歳層構成比率グラフに対し線対称である)
また、14歳以下の層では殆ど相関性が見られない

自治会加入率低下の実情に対する考察

実情

- ① 人口の多い地区ほど加入率が低い
- ② 15～64歳の層が多い地区ほど加入率が低い

考察

人口が多い地区の15～64歳の層に対する重点的な活動が必要であると考え
(出来ればもう少し層を分けて調査する必要もある)

また、その層の中でも老齢親族を抱える方々の悩みも考慮する必要もあると考える

